

令和6年10月3日

印西市

印西市教育委員会

独立行政法人都市再生機構

東日本賃貸住宅本部



UR賃貸住宅を活用した生涯学習の推進 に関する協定締結

～ニュータウンが成熟した今、住まう人の暮らしに着目～

印西市、印西市教育委員会及び独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、「UR賃貸住宅を活用した生涯学習の推進に関する連携協定」を令和6年10月2日（水）に締結しました。

1. 協定締結日

令和6年10月2日（水）

2. 協定の目的

UR賃貸住宅を拠点とした印西市の生涯学習の充実・発展に向けて、相互に連携し、人づくり、つながりづくり、地域づくりの好循環を目指すこと。

3. 協定締結の内容

- （1）地域の学び場づくり・居場所づくり
- （2）生涯学習活動の推進
- （3）文化芸術の振興
- （4）新しい生涯学習関連サービスの創出



協定締結式の様子(左から、UR都市機構東日本賃貸住宅本部 東京東・千葉・神奈川地域本部長 酒井弘、印西市長 藤代健吾、印西市教育委員会 教育長 渡邊義規、印西市マスコットキャラクター いんざい君)

4. 協定締結の背景

印西市では、近年の全国的な人口減少や少子高齢化を背景に、いつまでも住み続けたいまちの実現に向けて、市民等が多様なライフスタイルを実現できる都市を目指し、まちづくりを進めています。印西市特有の豊かな自然環境や北総線沿線の住環境の良さを活かし、自然と都市の暮らしとが融合した都市の実現に向けて、生涯学習・次世代に向けた教育の推進により、地域拠点の充実を図ります。

また、UR都市機構は、印西市を含む千葉ニュータウンの造成に昭和53年に着手するとともに、同ニュータウン内に全15団地のUR賃貸住宅を整備しました。昨今は、全国のUR賃貸住宅において、地域医療福祉拠点化の取組を推進するとともに、地域のコミュニティ形成や賑わい創出に向けて、集会所や屋外空間等をフィールドとして進めてきた地域一体のまちづくりの実績及びノウハウを活用し、様々な関係者と連携して周辺地域の活性化に資する取組を進めています。

両者は、この度、あらためて住まう人に着目し、印西市の強みでもある生涯学習や学びといった観点において連携し、互いのノウハウを用いて生涯学習の充実・発展を図り、人づくり、つながりづくり、地域づくりの好循環を目指すため、連携協定を締結することといたしました。

なお、両者は、連携協定に基づく定期的な相互交流を通じて、下記5の取組を皮切りに千葉ニュータウンにおける具体的な取組を開始いたします。

○背景と目的



住みよさ実感都市
ずっとこのまち いんざいで
「市民が生涯を通じて学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てるまちづくり」



- ・昭和53年～千葉NTの造成、UR賃貸住宅の整備（千葉NT内に全15団地）
- ・地域医療福祉拠点化をはじめとした全国における様々な活性化の取組

千葉ニュータウンが『街』として成熟した今、『人』に着目し…

生涯学習の充実・発展に向けて連携

人づくり、つながりづくり、地域づくりの好循環

5. 今後の展開予定

印西市とUR都市機構それぞれが有する「学び・体験」のプログラム『みんなのまなびば』をUR賃貸住宅を拠点に展開予定。第一弾を10月26日（土）にUR賃貸住宅「高花」「原山」の集会所及び屋外空間にて開催いたします。

お問い合わせは下記へお願いいたします

○印西市役所

教育委員会 教育部生涯学習課 (電話)0476-33-4713

○UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

千葉エリア経営部ストック活用企画課団地マネージャー班 (電話)043-296-7298